

令和7年4月18日

国土交通省関東地方整備局

荒川下流河川事務所

「荒川放水路通水 100 周年シンポジウム」を開催します

令和6（2024）年10月に荒川放水路は通水から100年を迎え、これまでに一度も決壊することなく、東京都の東部地域と埼玉県南部地域を守り続けてきました。気候変動による水災害の頻発化・激甚化が予測される中、これからも安心して暮らしていける強靱で持続可能な地域として、よりよい形で将来に引き継いでいくため、「流域治水」の取組のもと、関係する多くの皆様の協力が必要となります。通水100周年にあたり、流域治水の取組をより多くの皆様に知っていただき、荒川流域の未来に広く関心を持っていただくことを目的として、以下のとおり、シンポジウムを開催します。

- | | | |
|-----------|---|---|
| 1. 日 | 時 | 令和7年6月1日（日曜日）15：00～17：00（開場14：00） |
| 2. 場 | 所 | 赤羽会館 4階 大ホール
〒115-0044 東京都北区赤羽南1丁目13-1 |
| 3. 主 | 催 | 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所 |
| 協 | 力 | 荒川放水路通水100周年記念事業実行委員会
（戸田市、川口市、板橋区、北区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区、埼玉県、東京都、荒川下流河川事務所）
荒川放水路通水100周年記念市民実行委員会 |
| 4. 主 | な | 添付の開催チラシをご覧ください。 |
| 5. 定 | 員 | 150名（入場無料）
本シンポジウムは土木学会認定 CPD プログラムです。 |
| 6. 申し込み方法 | | 添付の開催チラシをご覧ください。
当日取材を希望される方は、別紙のとおり事前登録をお願いします。 |

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川建設記者会、川口市記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 荒川下流河川事務所

電話：03-3902-2311（代表） メールアドレス：ktr-arage-press@ki.mlit.go.jp

副所長 杉山（内線205） 保全対策官 秋山（内線401）

荒川放水路通水 100 周年シンポジウム会場までのご案内

日時：令和 7 年 6 月 1 日（日曜日） 15 時 00 分～17 時 00 分（開場 14：00）

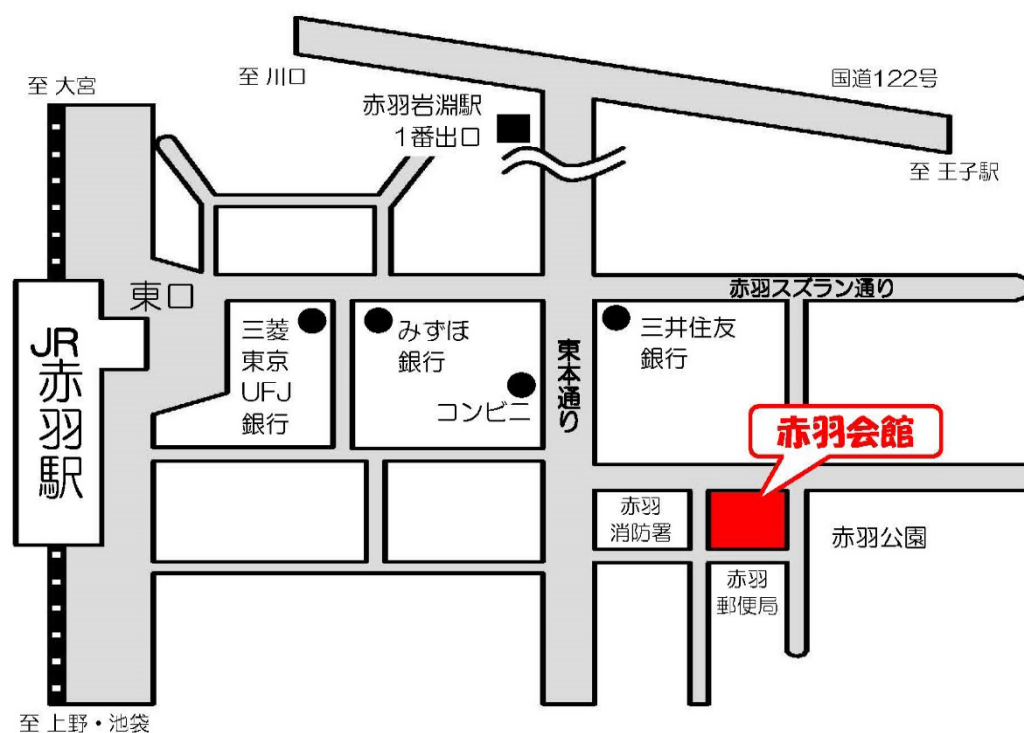
会場：赤羽会館 4 階 大ホール

〒 115-0044 東京都北区赤羽南 1 丁目 13-1

会場案内図

JR 赤羽駅東口より徒歩 5 分

地下鉄南北線 赤羽岩淵駅 1 番出口より徒歩 10 分



(注) 会場の駐車場（有料）は、数に限りがあります。

近隣の駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用の上お越しください。

荒川放水路通水 100 周年シンポジウム

事前登録書

標記について、取材を希望される報道機関におかれましては、メールにて事前登録をお願いいたします。

■取材申込期限：令和 7 年 5 月 2 9 日（木曜日） 1 7 時 0 0 分

宛 先：ktr-arage-press@ki.mlit.go.jp

件 名：【取材希望】荒川放水路通水 100 周年シンポジウム

本 文：

1. 報道機関名
2. 担当者（ふりがな）
3. 連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）
4. テレビカメラの有無

<取材に当たっての注意事項>

- 写真及び映像（ビデオ）等の撮影は、シンポジウムを通して可能ですが、進行の支障とならないようにご協力をお願いします。
- 災害等に伴い中止となった場合は、事前登録されたメールアドレス宛にお知らせします。
- 事前登録された報道機関の方は「荒川放水路通水 100 周年シンポジウム会場までのご案内」を参照のうえ、お越しく下さい。



荒川放水路 通水 100 周年 シンポジウム

荒川放水路は、明治期の度重なる洪水被害を契機に抜本的な洪水対策として人の手によって建設された人工の河川です。大正13(1924)年の通水から100年が経過し、これまで一度も堤防が決壊することなく、東京東部・埼玉南部の低地帯を守ってきました。一方、近年毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しており、今後さらに気候変動による水災害の頻発化・激甚化が予測されています。こうした状況下において、これからも安心して暮ら

していける強靱で持続可能な地域としてより良い形で将来へ引き継いでいくためには、「流域治水」の取組のもと、関係行政・公共機関をはじめ、有識者、企業・団体、また流域にお住まいの市民などあらゆる関係者が協力していくことが求められています。

荒川放水路通水100周年の機会をとらえて、地域の安全・安心を確保するため、今後100年の未来をどう描くかなどをテーマとした、シンポジウムを開催します。

参加費
無料
定員
150名

開会挨拶

国土交通省関東地方整備局長 岩崎 福久

事業報告

国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所長 菊田 友弥

記念講演

気象予報士・キャスター/
流域治水アンバサダー 伊藤 みゆき

『「いつも」を知って「いざ」に備える』

東京大学生産技術研究所教授/
東京大学社会科学研究所特任教授 加藤 孝明

『浸水と親水～まちづくり～』

パネルディスカッション

『今後100年の荒川放水路の未来』

2025

6/1 日

15:00-17:00

開場 14:00

赤羽会館 4階 大ホール

主催：国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
協力：荒川放水路通水100周年記念事業実行委員会
荒川放水路通水100周年市民実行委員会

本シンポジウムは
CPDプログラム申請中です。



登壇者プロフィール



加藤 孝明

東京大学生産技術研究所教授
東京大学社会科学研究所特任教授

専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学、防災。防災性評価技術を社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発を行う一方、「防災【も】まちづくり」を提唱し、防災を主軸とする総合的なまちづくりを実践。「国土交通省流域治水の自分事化検討会 委員」、「東京都防災会議地震部会専門委員」等多数歴任。

記念講演

ファシリテーター



伊藤 みゆき

気象キャスター／流域治水アンバサダー／NPO法人 気象と地域防災フォーラム 副理事長

気象キャスターとしてNHKラジオの解説を15年以上続けている。「言葉で絵を描くような解説」で多くのリスナーの信頼を得ている。現在はNHKラジオ第一「今日のニュース（土日祝）」に出演中。気象災害は地震や火山よりも精度高く予想できることから、防災士講師の活動では「自ら気象情報を得ることで、生命財産を守る確率が高い」ことを伝えている。

記念講演

パネリスト（気象予報士）



パネリスト（市民実行委員会）

三井 元子

荒川放水路通水100周年記念市民実行委員会（NPO法人あらかわ学会副理事長）

荒川・綾瀬川・花畑川を中心に、河川の歴史・文化・防災に関する普及啓発活動や親子生物調査等を行う。著作に『花畑運河の今昔』『イノシシが泳いできた荒川』など多数。



パネリスト（経済団体関係者）

越野 充博

東京商工会議所 北支部 会長

創業明治45年、東京北区の百年企業越野建設株式会社代表取締役。東京商工会議所北支部会長の活動を通じて地域活性化推進に取り組む。また、しづさわくんFM・渋谷クロスFMのパーソナリティを務めるなど幅広く活動中。



パネリスト（行政（流域自治体））

やまだ 加奈子

東京都 北区長

損害保険会社勤務後、代理店として独立。2007年から北区議会議員を4期（第68代北区議会議員）、2020年から都議会議員を2期。2023年4月より北区長に就任。



パネリスト（行政（国））

菊田 友弥

国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所長

2004年国土交通省入省。2019年インドネシア共和国（JICA専門家）に駐在後、2023年水管理・国土保全局国際河川技術調整官を経て、2024年4月より現職。

申し込み方法と期間

下記の荒川知水資料館（アモア）のシンポジウムWEBサイトからお申込みください。なお、お申込みは1名ずつをお願いします。（グループでの申し込みは受け付けておりません）

アモア

検索

申し込み期間／2025年4月18日（金）～5月28日（水）

- 会場参加の申し込みは定員になり次第締め切らせていただきます。
- 申し込み手続きは（株）建設技術研究所に業務委託しています。
- 申し込みについてのお問い合わせは下記までお願いします。
シンポジウム受付担当 E-mail: aw100s@ctie.co.jp



▲シンポジウムWEB
サイト参加申し込み

お問い合わせ

国土交通省関東地方整備局

荒川下流河川事務所 地域連携課シンポジウム担当

TEL:03-3902-8745（土・日・祝を除く10:00～17:00）

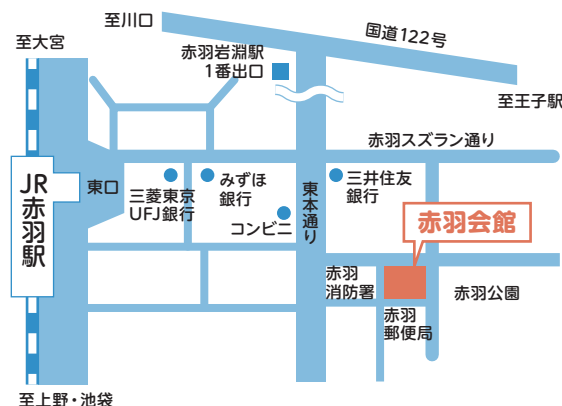
※会場となる赤羽会館への問い合わせは行わないようにしてください。

会場案内図

会場：赤羽会館 4階 大ホール

東京都北区赤羽南1丁目13-1

- JR赤羽駅東口（京浜東北線、埼京線、高崎線、宇都宮線）徒歩5分
- 地下鉄南北線赤羽岩淵駅 徒歩10分



※施設の駐車場は数に限りがあるため、できる限り公共交通機関をご利用の上お越しください。